

2024年度 情報科学I ガイダンス

1. 概要と方法

大学での学修にコンピュータの利用は不可欠である。この科目では、今日のネットワーク社会の特徴を利用者の立場から捉えた後、コンピュータを使った説得力のある文書作成やプレゼンの技法を講義と演習を通じて修得する。演習には各人専用のパソコンを使用する。

2. 目標

医療人として必要な情報倫理感を持つ。情報機器がつながるネットワークの概要を理解できる。情報機器を利用して説得力のあるレポートの作成やプレゼンができる。インターネット上の情報を収集し、適切な基準による取捨選択ができる。

3. 授業の予定

日程	授業の概要
12日 2限	(1) 情報倫理とファイル操作 0. 授業ガイダンス 1. キーボードからの入力は業務上必須であるため、速やかに入力ができるようになるようタッチタイプの練習を毎回行う。(このファイルの提出を持って出席とみなす) 2. レポートなどのファイルを利用してファイル操作を習得する。 3. 社会人として、医療人として、適切な情報倫理感を醸成する。
4月 19日 2限	(2) 情報科学の変遷 1. タッチタイプ 2. 人工知能(AI)は、むしろ医療界にも今後深く根差すことが予想されるものである。したがってこの歴史と応用を知り、医療人ならではの人工知能(AI)とはいかなるものかを把握することで、今後どのような対応が迫られるかなどをイメージできるようにする。
26日 2限	(3) メールと他の情報伝達ツールによる文書作法 1. タッチタイプ 2. 人間同士のコミュニケーションに通常使用されるのが自然言語である。それは、使われる環境によって文体や作法を変化させなければならないことを認識する。
5月 10日 2限	(4) ビジネス文書の作法 1. タッチタイプと罫線処理 2. 業務上の情報伝達用文書の約束事を知り、自ら作成できるようになる。前回の演習内容と合わせ、読む人を思い浮かべ、文体などに注意しながら書くことができる。
17日 2限	(5) 文書構造の組み立て 1. タッチタイプと図形描画 2. レポートに必要な文書構造の組み立てについて学ぶ。

24日	2限	(6) プレゼンテーション 1. タッチタイプ 2. プレゼンテーションツールの基本操作を習得する。	
14日	2限	(7) 伝わる発表の技法 1. タッチタイプ 2. プレゼンテーションの対象をふまえたプレゼンテーションの作成	
6月			
21日	2限	(8) 総合演習 1. タッチタイプトレーニング報告書の作成 2. プレゼンテーション発表会	
9月			
6日	2限	試験 (テキスト持込)	
20日	2限	補講	
2月	7日	2限	再試験

4. 評価の基準

摘要	割合
最終試験	20%
課題演習	80%
合計	100%

※ 課題演習の詳細配点については、追って連絡する

※ **最終試験の点数割合を提出課題の評価点に対して反映させる** (例: 最終試験が0点だった場合, 課題提出点が満点の80点でも, $80 \text{点} \times 0\% = 0 \text{点}$ となるので注意すること)

5. 受講に当たっての注意事項

- 1) 授業の概要について、授業日前日に Melly にアップするので軽く確認しておく。
- 2) Melly への個別連絡については、担当校が他にもあるため、チェックが遅れることが予想される。連絡する場合は、時間に余裕をもって行うこと。
- 3) **出席は、入力トレーニングデータの時間内の提出をもって出席とする。**
よって、発熱などによる欠席の場合、体調が許す範囲でトレーニングデータを時間内に提出した方がよい。ただし、無理はしないこと。提出できず、公欠処理ができる場合は所定書類を提示すること。
- 4) 課題について、必ず演習して提出すること。**トレーニングデータの提出に配点はない**ため、出席しても課題を提出しなかった場合、80点分が0点となる。
- 5) 課題提出について、指示された場所以外に提出したものは破棄する。提出場所を十分確認の上、提出すること。

以上